

宇都宮大学

宇都宮大学農学部附属演習林トピック（令和5年度）

宇都宮大学農学部附属演習林

○宇都宮大学農学部附属演習林と栃木県環境森林部で協定書締結

栃木県において林業大学校設置（令和6年度開校）に伴いその実習場所の一部として宇都宮大学農学部附属演習林（船生演習林）を利用することとなり、2024年（令和6年）3月に栃木県環境森林部と本学農学部において協定書を締結した。

実習内容は、当面は、植付（地拵え含む）、下刈り、枝打ち、間伐の実習地となる予定であるが、今後は、伐採、高性能林業機械を使用した造材等の実習利用も検討することとしている。

○公開森林実習の令和6年度からの開講に向け検討

宇都宮大学農学部附属演習林では、令和6年度から全演協における公開森林実習開設に向けて学内協議を進めて、令和6年度は、9月18日～20日の2泊3日で実施することとなった。

学内の意見を取り入れ、日光地域をフィールド利用した日光杉並木の保全や戦場ヶ原での森林と環境について学ぶ他、船生演習林にて里山における食と住に重点を置いた実習を検討中である。

特に里山における食については、地域の食材や本学農場で産出された食材を利用した実習を検討している。

○演習林組織に社会連携部を設置

令和5年度より、演習林組織に社会連携部を設置し、外部との連携を強化することとした。これに伴い経営部を「教育・経営部」へと変更し学内の演習林利用も促進していくこととなった。大久保演習林長（社会連携部主任併任）が、学内外にアピールし、とちぎ環境・みどり推進機構主催の「里山塾」での演習林利用、本学共同教育学部（附属学校含む）や塩谷町立塩谷中学校での演習林材利用が開始された。特に塩谷中学校においては、演習林内での間伐教室やチェンソーの取り扱いについて学ぶ機会となった。

○船生演習林内にピザ窯設置

公開森林実習、地域連携、及び船生演習林を利用する様々な実習において食に関する実習教育のため船生演習林内にピザ窯を設置し、伐採時に発生する端材を薪として使用しSDGsに貢献している。

特に、本学地域デザイン科学部の一部教員からピザ窯設置について高評価を得ており、今後の演習林を利用し食に関する実習に利用して行きたいとのことであった。

○日光演習林（戦場ヶ原、太郎山演習林）の経営計画策定に着手

懸案であった、日光演習林の経営計画策定について、調査及び管理計画作成を開始し、令和6年度から適用に向け着手した。